

たかひこ

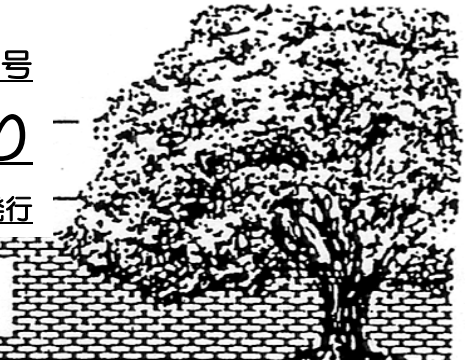
令和元年度 1月号

学校だより

令和2年1月8日発行



杉並区立高井戸第二小学校



2020年、高井戸第二小は120周年を迎えます

校長 前田 佐和子

新年、明けましておめでとうございます。

各ご家庭におかれましては令和初のお正月、楽しく迎えられたこととお喜び申し上げます。子どもたちにとって飛躍の年になりますよう、教職員一同、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2020年、高井戸第二小学校は、開校120周年を迎えます。

明治34年(1901年)5月、この久我山の台地に、高井戸村第二尋常高等小学校として開校したのが高二小の始まりです。杉並区では、この時すでに明治8年に高井戸小、杉一小、桃一小の3校が開校していましたが、子どもの数が増えるとともに、高井戸小から分かれて私たちの高二小も誕生したのです。

このころの久我山は80戸ほどの農村で、そのほとんどは農家、他に駄菓子屋3軒、お酒や雑穀、肥料を売る店が2軒、他に医者、床屋、材木店、大工の家がそれぞれ1軒の静かな村でした。

最初の校舎は教室が二つ、職員室が一つの木造わらぶき屋根の平屋建校舎。電気の設備はなく、トイレは別棟でした。児童数89名、学級数2、教員数2名の小さな学校でしたが、学区域は、現在の高四小、松庵小、久我山小のあたりまで広がっていました。

校庭は1周しても、60メートルあるかないかで、農家の庭よりちょっと広い程度でした。小石が敷きつめてあ

り、風の強い日には、土ぼこりで辺りがもうもうとなっていたそうです。現在の大きく立派な校舎、スプリンクラーの完備した校庭がありがたいですね。

明治の中頃まで、我が国の小学校は4年制だったのですが、その後、6年制となります。高井戸第二尋常高等小学校は、開校当時1年と2年、3年と4年の複式学級。一人の先生が2学年の指導をしていて、1年生が教わっているときは2年生は自習するというような授業形態でした。明治42年には、建物が増築され、3学級となり、先生も3名となりました。

校長室には、地域の方からいただいた貴重な地図があります。大正15年「町制記念 高井戸町大字久我山平面図」です。大正と昭和の境目のこの年、高井戸村は高井戸町になったのです。

高二小は、関東大震災(大正12年)、中央線の開通や延伸、井の頭線の開通(昭和8年)、日中戦争、太平洋戦争(学童疎開・東京大空襲など)、戦後の困窮生活など時代の荒波を乗り越え、今を迎えています。戦後のベビーブームの昭和26年には、1625名の児童数が記録されています。

高二小の子どもたちに自分の母校を愛する心、地域を誇りに思う気持ちをさらに育んでいきたい、学校を応援してくださる保護者・地域の皆様との連携をさらに深めていきたい、120周年を迎えるに当たり校長としてその思いを強くしております。どうぞよろしくお願い致します。

1月の生活目標『自分から進んであいさつをしよう』

新しい年の始まりです。年の初めに自分から進んであいさつをすることにより、気持ちが前向きになり充実した日々を過ごすことができるようになります。

「おはようございます。」「こんにちわ。」「ありがとうございます。」「いただきます。」「ごちそうさまでした。」「さようなら。」のような基本的なあいさつの他にも色々なあいさつがあります。

1年のスタートです。ぜひ、あいさつの習慣を学校や家庭で身につけていけたら嬉しいです。

